

平成 23 年度第 2 回みんなで支える森林づくり上小地域会議議事録

平成 24 年 3 月 7 日 13 時 30 分～
上小森林センター会議室

- 出席委員(敬称略) 加々美貴代、斉藤昌一、佐藤文雄、辰野登志男、
田畑宗郎、松沢康博
- 欠席委員(敬称略) 上原栄子、小岩井 彰

開会宣言

上小地方事務所林務課長あいさつ

司 会

- ・配布資料の確認をする。
- ・当会議は公開である旨を伝える。

会議事項

座長(辰野委員)

まず、平成 23 年度森林税活用事業の実績及び平成 24 年度事業の計画状況について事務局から一括して説明をいただき、その後にご意見等をお願いしたい。

事務局

資料 1 (1-1 から 1-6) により「平成 23 年度の森林税活用事業実績」を説明

事務局

資料 2 (2-1 から 2-4) により「平成 24 年度の森林税活用事業計画」を説明

座 長

以上の報告説明に対してご意見をお願いしたい。特に、森林づくり推進支援金事業と木育事業の実施については皆様のご意見を伺うことになっている。

座 長

特に無いようなので次の会議事項 3、「次期森林づくり県民税活用事業の骨子案」について説明をお願いしたい。

事務局

資料 3 により説明

- ・骨子案といったが、正式には「検証レポート」である。
- ・過日(2月9日)に行われた県民会議においてまとめられたレポートである。
- ・いままでの県民会議・地域会議での意見、県民アンケート結果などを反映させた次期森林税活用制度への提言である。

- ・内容は、①今までの税事業の検証(評価と問題点の洗い出し) ②今後の対応課題
 - ・次期森林税活用制度構築に向けての動向をお知らせするとともに、この骨子案に対する具体的なご意見をいただきたい。
- (骨子案の内容説明は資料3のとおり)

座長

この案の方向で進んでいくと思われませんが、ただいまの説明に対してご意見ご提案あればお願いしたい。

松沢委員

今説明していただいた方向で進んでゆくであろうということですが、野生鳥獣の問題は里山を整備することによって野生動物がでてこなくなった例もあり、里山整備を一層進めてほしいし、野生鳥獣対策は深く入って取り組んでもらいたい。

また、税額、年500円は十分なのか疑問である。できれば、月100円、年間1200円ではどうかと思う。

座長

税額についてはもう固まっているのか。

事務局

まだ決まっているわけではない。資料3の14ページに「税収額は現行と同程度以上の財源は必要であると考え」とある。

座長

ここで、さきほどの資料1・2の説明も含めて全体を通してご意見等ありますか。来年度は資料2の内容で進むということでご理解いただけるか。

(各委員特に異議なし)

座長

次に、4のその他に入ります。何かあるか。

事務局

この地域会議における委員の皆様への委嘱期間の延長についてお願いがある。

皆様方には本年3月末までということで委員を委嘱してあるが、現森林税活用制度が平成24年度末までであり、来年度一年かけて次期制度構築を行う大事な年度であることから、引き続きもう一年、平成24年度末まで委嘱期間の延長をお願いするところである。皆様方のお知恵を引き続き頂きたくお願い申し上げます。

この件についてご了承いただければ4月以降公文にて通知させていただく。

座長

ただいまの事務局からのお願いについてご了解いただけるか。(各委員から異議なし)
ご了解いただいたので引き続きお願いしたい。

座 長

ほかに何かあるか。

事務局

地域会議の来年度の開催予定ですが、今のところ6月下旬から7月上旬頃に1回、3月上旬に1回を予定している。次年度にはパブリックコメントや市町村説明会など予定されている。県民会議などの動向を注視しながら当地域会議を開催していきたい。

座 長

タイミングを見計らって会議の招集などしていただきたい。

その他特になければ議事を終了したい。

解散(会議終了宣言) 14 : 28